

# ひょうご 森林ボランティア 第9号



兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会

## 県民総参加の森づくりにご協力を

兵庫県農政環境部農林水産局 豊かな森づくり課長 山口 和範

平素、兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会構成員の皆様方には、兵庫県が進める「県民総参加の森づくり」にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

県内の森林を適正に整備し、水源かん養や二酸化炭素吸収など、森林の公益的機能を発揮させるためには、森林所有者や行政の努力だけでは、どうしても手の行き届かないところがあります。

このため、本県では、「森林は県民共通の財産である」という基本認識を持って、森林ボランティアの皆様や企業の方々のご協力を得て、県民総参加で健全な森づくりを進めています。

そのひとつが「森林ボランティア1万人作戦」であり、多くの方に講座を受講いただいたおかげをもちまして、平成22年度に目標の1万人を突破しました。このボランティアの方々が、都市近郊から山間部まで、県内各地で広葉樹林やスギ・ヒノキ林の整備にあたってくださっています。改めてお礼申し上げますとともに、息の長い活動となりますようお願いいたします。

企業の社会貢献の一環として実施していただいております「企業の森づくり」につきましては、これまでに37の企業・団体に取り組んでいただいております。森林ボランティアの皆様には、こういった企業との連携も図っていただければ幸いです。

11月9日、西宮市の県立甲山森林公園で開催した「ひょうご森のまつり」では、桑田会長様から活動報告と今後の取組み強化への呼びかけを力強く行っていただきました。

協議会構成団体の益々の発展と皆様のご健勝でのご活躍を心から願っております。

## ひょうごユース eco フォーラム

12月21日（土）にデザイン・クリエイティブセンター神戸で、小学生から大学生含む53団体総勢370名の参加者が日頃の環境関連活動を報告し、問題意識を共有する「ひょうごユース eco フォーラム」（主催：兵庫県環境政策課）が開催され、外の寒さを吹き飛ばす程の熱気で大いに賑わいました。

昨年度まで過去3回「ひょうご環境担い手サミット」として開催されておりましたが、今年度から様々な環境保全・創造活動の担い手、特に若者世代による更なる活動の活性化を図るため、若者の企画・運営等への参画のもと「ひょうごユース eco フォーラム」となったとの事で、参加者の6割は大学生以下の元気な若者でした。



グループディスカッション

兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会として参加するのは昨年度に引き続き2回目となりました。

当協議会と「ブナを植える会」「ひょうご森の倶楽部」「あびき湿原保存会」「ほくら〜ととや森の世話人倶楽部」の単独出展4団体のブースは入口近くに纏まっておりましたので我々の活動内容の良い紹介の場となりました。

午前中は3会場に別れての実践口頭発表並びにKIITOホールでのポスター発表で、昼食をはさみ14時過ぎまで発表者や各ブースの出展者との交流などを行いました。

その後、40グループに分かれて各参加者事前提出写真をネタに「“恵み豊かなふるさとひょうご”を次代につなぐ〜今、私たちにできること〜」をテーマにグループディスカッションを行いました。このフォーラムの良さは世代を超えて同じテーマで議論して相互コミュニケーションがとれるところだと思います。

このフォーラムは来年も開催予定との事ですので、協議会会員団体の皆さまも積極的に出展参加されませんか？若者の元気とパワーを上手く、我々の活動に活かして参りたいものです。

# ひょうご森のまつり2019

今年の「ひょうご森のまつり」は11月9日(土)に県立甲山森林公園(西宮市)で開催されました。天気にも恵まれ、また「森は海の恋人」で知られる島山重篤氏の記念講演もあったことから、多くの来場者で賑わいました。

当協議会も例年どおり、式典における森林ボランティア活動報告、テントブースでの活動PRや森を楽しむコーナーの出展、里山林整備体験の指導スタッフとして参加しました。また、式典において当協議会会員団体の「よこおみち森もりの会」が「ひょうご森づくり活動賞」の表彰を受けました。(3頁参照)

活動報告は、森林ボランティア活動の幟旗を持った会員団体のメンバーが並んだステージ上で桑田会長から県内の森林ボランティア活動を報告するとともに、多くの県民のみなさまが森づくり活動に参加されるよう呼びかけました。

テントブースでは各団体を紹介するパネルの展示や発行したばかりの森林ボランティア団体プロフィール集の配布により活動をPRしました。また、森を楽しむコーナーでは、会場の関係から今年は丸太切り体験のみを出展しましたが、カップルなどたくさんの方に「ノコギリで木を切る」ことを体験していただきました。また、緑の募金箱を置いて募金を呼びかけました。

里山林整備体験はメイン会場に隣接する西宮市立甲山自然環境センターの里山で実施され、事前に申し込まれたファミリーなど13人の除伐作業体験を当協議会メンバーが指導・サポートしました。

なお、当日の当協議会会員の参加団体・参加者数は8団体・20人でした。



森林ボランティア活動報告



丸太切りコーナー



里山林整備体験

## こうべ森の文化祭(ひょうご森の日イベント)

平成17年10月に三田市で開催された全国育樹祭にちなんで、毎年10月の最終日曜日を「ひょうご森の日」とし、県内各地で県民の皆さんが森に入り、ふれあう取り組みが行われています。

当協議会の各加盟団体でも、その日を前後して各活動地にて一般の人に森を守る、森に生きる植物を観察する、森で遊ぶ、森で収穫できるものを採り食べるなどを体験してもらうイベントを企画・実施しました。

平成14年の六甲山緑化百周年を記念して始まった神戸市と六甲山の仲間たち主催のこうべ森の文化祭が、ひょうご森の日の10月27日(日)に再度公園「森の遊び場」周辺で行われました。

六甲山にかかわる27の団体が、それぞれのテントブースで日々の活動の紹介、工作や森の遊びの体験、木の実等の試食、また森に入っのミニ観察ツアーなどを行い、晴天に恵まれてハイカーやまた車で来た家族連れなど一般入場者約2,000人が訪れました。

当協議会は昨年に続いて参加し、パネル展示と一般の人に竹を使っての立体ぶんぶんごまづくり、またクイズラリーの問題では日本の代表的な竹のモウソウダケ、マダケ、ハチクの実物からマダケを探してもらうなどをし、ブース内は終日多くの人でにぎわいました。



竹の立体ぶんぶんごまづくり



松林の中の文化祭会場



# ひょうご森づくり活動賞

森づくり活動を通じて、森林・里山整備及び地域住民との交流や人材育成を推進し、緑豊かで住みよい県土づくり、「県民総参加の森づくり」に貢献した優れた団体に対し「ひょうご森づくり活動賞」を贈呈することにより、広く県民の森づくりへの参加意識の高揚を図り、さらに市民活動の輪を広げると共に地域住民、企業、行政等との活動を促進することを目的とし、平成23年9月から施行されている賞です。

## 令和元年度受賞団体（ボラ協関係）

### よこおみち森もりの会（神戸市）

神戸市須磨区の須磨ニュータウン周辺の放置されていた森・緑地を整備して、地域住民の癒しの森（場）にしようとして平成21年に会を7名で立ち上げ、現在2地区10ヶ所の活動地で正会員数35名にて、毎週火曜日と月2回の土曜日の定例と有志によるものを含め年間80日程の活動を行っています。

主な活動は六甲山系の横尾山中腹の荒れていた法面3000平方メートルで兵庫県花ノジギクの育成。ここは神戸花の名所に選定され、また毎年新聞にも紹介されて遠方からも多くの方が訪れます。雑木林内に作った散策路やハンモック広場は地域の方が日常的に訪れる場所になっています。他の雑木林では、自生の種から育ててのつつじの森づくり、四季を楽しめる落葉樹の植樹、シイタケの栽培、他にハチクのタケヤブの皆伐、各種の蝶が集まる草花の植え付け、子供たちの自然観察会等を行っています。今後も活きた新しい里山となるように整備地の維持と拡充に努めていきます。



横尾山中腹のノジギク

このたびは「ひょうご森づくり活動賞」を頂き大変嬉しく思っています。

## 森づくりに貢献のあった団体・個人が次の賞を受賞されました。（敬称略）

全国育樹活動コンクール・国土緑化推進機構理事長賞：的形ふるさと里山会

環境保全功労者知事表彰(団体)：ナシオン創造の森育成会

兵庫県功労者表彰(環境功労・個人)：西澤孟治（溪のサクラを守る会会長）

### 的形ふるさと里山会（姫路市）

この度、令和元年12月15日に沖縄県で開催されました「第43回全国育樹祭」の席上で令和元年度全国育樹活動コンクール「国土緑化推進機構理事長賞」を受賞致しました。

活動地は姫路市の南東部に位置し、播磨灘に面して三方が100m前後の山々に囲まれた地域が的形町です。この山々を復活させ、コミュニティの活性化を図り、町民の健康増進を願って、平成20年4月に「的形ふるさと里山会」を発足させました。

登山道の整備活動（草刈り、雑木や倒木の伐採、樹木の植栽等）をメインに、地域の子供たちとのふれあいを大切に活動しています。こども園の4歳児・5歳児を春と秋、礒山（60m）に案内し、春は5歳児にノジギクの植え付けを体験してもらいました。小学校3年生には「森林環境体験学習」で、新緑と紅葉の時期に里山（約100m）へ案内し、春と秋との樹木の違いを観察したり、一緒に名前を調べたりしています。教材用に「的形里山の樹木」という解説冊子を発刊しました。



小学3年生環境体験学習

これからも“継続は力なり！”をモットーに、活動を続けていきます。

## 新会員紹介

### 櫻守の会（宝塚市）

櫻守の会は1999年に設立されて、今年で20周年を迎えました。桜博士と言われた笹部新太郎氏の没後、宝塚市武田尾の「亦楽山荘」は荒れ放題でしたが、1999年宝塚市の里山公園「桜の園」として再出発し、この時に行われた山桜植樹会の参加者が中心になって当会が発足しました。笹部氏がモデルとなった水上勉氏の小説「櫻守」に因んで、「櫻守の会」と名付けられました。

その後活動地は宝塚市内の5ヶ所に増え、月に8回の里山整備活動行っています。活動地はいずれも兵庫県又は宝塚市管轄の里山公園であるため、ハイカーや地域住民の方が多く訪れており、私たちは園内訪問者の安全対策（園路・広場の整備）、明るい森づくり、自然種のサクラの植樹と育成、などの活動を行っています。

現在会員数は112名ですが、活動に参加している会員は毎回20名程度です。会員の高齢化が進んでおり、若い会員を増やすことが最大の課題になっています。他団体の皆さんと情報を共有化し、イベント等に参加して、会員増加に繋げることができたらよいな、と思って入会させていただきました。



園路脇の枯れ松を伐採

### ぼうかプロジェクト（神戸市）

高校を卒業して約30年、自分たちを育ててくれた地元神戸に何か恩返しができないかと同窓会で話をした結果、六甲山系の森づくりに長年かかわってきた友人の提案もあり、環境省の「生物多様性保全上重要な里地里山」に選定されている渦が森（神戸市灘区）で森づくり活動を始めることにしました。



第一回活動時の集合写真

「生物多様性を保全するため、神戸で行動を起こしていこう！」との思いをこめ、『ぼうかプロジェクト』と名付けました。We create **B**iodiversity where **O**wls can live and **U**niversal society, **K**obe **A**ction **P**roject

（太文字をつなげてBOUKA（ぼうか）プロジェクト）

メンバーの大部分は森林整備の初心者であり、今はまだネザサと格闘中です。全員が40代、仕事をしながらの活動のため、4回/年程度ですが、無理せず、楽しく活動を続けていくことを重視しています。



### 「緑の募金」にご協力ください！

公益社団法人兵庫県緑化推進協会

森や緑は私たちの暮らしに限りない恵みをもたらすし、豊かな地球環境を残してくれています。

このかけがえのない森と緑を守り育てていくために、「緑の募金」として家庭募金、学校募金、職場募金、街頭募金、団体募金、企業募金を県下各地で行っています。

<http://www.hyogo-green.net/>

なお、兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会からの平成31年1月～令和元年12月の募金額は¥101,257-でした。

### 事務局からのお知らせ

メールで助成金やセミナーなどの情報提供をしています。

未登録の団体で、希望される場合は以下のメールアドレスまでご連絡ください。

（担当：豊かな森づくり課 廣田）

yutakanamorizukuri@pref.hyogo.lg.jp

#### 郵便振込

手数料が不要になる専用の払込取扱票用紙をお送りしますので、(公社)兵庫県緑化推進協会へ直接お問い合わせください。

#### 銀行振込

口座：三井住友銀行兵庫県庁出張所

普通 3198438 (振込手数料が必要)

名義：公益社団法人 兵庫県緑化推進協会

問合せ：TEL 078(341)4070 FAX 078(341)4071

### 事務局 兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号  
兵庫県農政環境部農林水産局豊かな森づくり課内

TEL 078-362-3613

FAX 078-362-3954

会報に関する問い合わせ：桑田 結

〒657-0011 神戸市灘区鶴甲3丁目5番29-106

Tel/Fax 078-851-0291

携帯 090-3166-9785

E-mail bunawouerukai.kobe@gmail.com

